

韓国人はいつ한복(韓服)を着るの?

太宰府市国際交流員 金辛泫 キム・シンヒョン

日本では伝統的な衣装といえば、着物がその代表的な存在ですが、韓国にも「한복(韓服)」という伝統的な衣装があります。しかし、韓国人が日常生活の中で韓服を着ることは非常に稀であり、主に特別な行事や儀式の際にのみその姿を見ることができます。

韓服を着るのは、主に結婚式や新年の挨拶、祖先を敬う「祭祀」などの伝統的な行事です。特に韓国の「설날(旧正月)」や「추석(秋夕)」のような重要な祝祭日には、多くの人々が家族や親戚との集まりに向けて韓服を着用します。これらの行事では、伝統を守る意味で韓服を着ることが一般的です。

また、韓国の結婚式でも韓服は重要な役割を果たします。披露宴で新郎新婦が韓服を着るのはもちろん、結婚式に出席する親族も伝統的な服装を選ぶことが多いです。さらに、子どもの初めての誕生日(돌잔치)などの祝典でも韓服を着ることがあります。

日常ではほとんど着ることのない韓服ですが、特別な日にはその意味を再確認し、文化的なアイデンティティを次の世代にしっかりと伝えていくこうとする意識を感じられます。



韓服

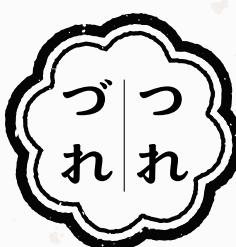
季節の生け花

太宰府市華道連盟



本山 晴子 新池坊

花材：柳、小菊



太宰府短歌会

騒ぎつつ進めば何も怖くない
太鼓叩いて雷渡る

福岡市／竹森 裕彦

しゃがみこみ外階段でたばこ吸ふ
をのこがひとり寒き夕べに

糟屋郡／仲道 朋子

壇ノ浦に平家を偲び秋晴れの
煌く海に心安らぐ

東ヶ丘／西木 ミヤ子

わかれは熱き茶をすする菊日和
大佐野台／宮崎 フミ屋根瓦の瓦の形に猫眠り
苔寺の苔のみどりに横たふて

湯の谷／山崎 八重子

終迎へたし紅葉のごとく
まつさらな初雪の道吾の一步

星ヶ丘／柴田 慧美子

太宰府俳句会
持承 真理子選氣遣ひの嘘少し言ふ寒さかな
果されぬ約束となり悔い申し

東觀世／中島 祝乃

國分／松尾 満子

慣れる間も無く襲はる寒さかな
丹精の冬菜の届き又感謝
馬場／今長谷 久子

嘉与子

黙々と手入れの姫冬菜畑
福岡市／北川 朴洋子

高野城市／北川 嘉与子

飛梅句会

嘘して次にすること忘れをり
朝倉市／味酒 ふじ子

青葉台／本山 晴子

河豚刺や花びら綺羅と皿に散る
年暮に中闇の茶の誘ひ

向佐野／内田 典子

青葉台／本山 晴子

鰐酒や長州歴史聞く旅路
買ひ過ぎて買ひ忘れあり年の暮

星ヶ丘／江里口 幸生

青葉台／本山 晴子

手放した物の大下年の暮
年暮に中闇の茶の誘ひ

福岡市／貞金 志帆

青葉台／本山 晴子

寒の水米ひと粒も流すまじ
手放した物の大下年の暮

福岡市／北川 朴洋子

青葉台／本山 晴子

初雪に煙がし我の遠き日よ
都久志てんじん句会
佐々木 甘露子選

高雄台／荒島 由美子

福岡市／塩飽 たかこ

福岡市／塩飽 たかこ

冬の月父情を知らぬ娘の上に
福岡市／北川 朴洋子

青葉台／本山 晴子

青葉台／本山 晴子

偶然と必然いかに冬の涛
福岡市／塩飽 たかこ

青葉台／本山 晴子

青葉台／本山 晴子

ほろ酔いの月影と踏む霜柱
福岡市／宮津 英里子

青葉台／彦坂 正孚

青葉台／彦坂 正孚

手放した物の大下年の暮
年暮に中闇の茶の誘ひ

福岡市／貞金 志帆

青葉台／彦坂 正孚

冬の月父情を知らぬ娘の上に
手放した物の大下年の暮

福岡市／北川 朴洋子

青葉台／彦坂 正孚

ほろ酔いの月影と踏む霜柱
福岡市／宮津 英里子

青葉台／彦坂 正孚

青葉台／彦坂 正孚

年暮に中闇の茶の誘ひ
向佐野／内田 典子

青葉台／本山 晴子

青葉台／本山 晴子

年暮に中闇の茶の誘ひ
向佐野／内田 典子

青葉台／本山 晴子

青葉台／本山 晴子